島原雲仙農業協同組合 (代表理事組合長 苑田 康治)

輸出 品目

青果物 (いちご)

主な輸出先国

香港、シンガポール等 (2023年)

輸出実績

160百万円(2023年)

対象となる 地域

長崎県南島原市・島原市・雲仙市

輸出産地の概況

- ・当組合がある島原半島は、全国屈指の産出額を誇る長崎県の 中でも面積、出荷量とも約70%を占める一大産地である
- ・海外向けに新たな販売チャネルを獲得することにより、単価 の同復・維持を図るべく、平成29年度より取組を開始。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・タイ向けに、生産園地登録及び選果こん包施設の登録を令和2 年3月、食品衛生上の選果こん包施設認証・証明書を令和2年 10月に取得。
- ・海外のニーズに対応するため、「さちのか」からより収量が 取れる「ゆめのか」、省力化と大玉品種の「恋みのり」の2 品種へ転換。

アピールポイント

★現地店舗でのいちごの試食やPR動画放映による販売促進活動 のほか、旧正月向けデザインのギフト箱導入、産地マップの 作成・配布など、長崎県産いちごの認知度・評価の向上およ び更なる顧客取込みに努めている。



輸出先国の言語に対応したPR動画の製作



バイヤー・市場流通関係者 とのミーティング



タイ向け輸出に係る施設 認証